

平成29年度入試

【AO入試Ⅰ(地域貢献人材育成入試)】問題

小 論 文

(生物資源科学部)

注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は3ページである。解答用紙は4枚、下書き用紙は2枚である。指示があってから確認し、解答用紙、下書き用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところに記入すること。
- 4 解答用紙及び下書き用紙は持ち帰ってはいけない。
- 5 試験終了後、問題紙は持ち帰ること。

次の問1と問2の両方に解答しなさい。なお、解答は必ず問ごとに指定された解答用紙の所定の欄に記入すること。

下書き用紙は解答の下書き、考えのメモ、文章の構成等、裏面を含めて自由に用いてかまいません。ただし、下書き用紙も提出すること。

問1

次の文章は国立環境研究所主席研究員の五箇公一氏による「食の多様性喪失 社会、文化の発展ピンチ？」からの抜粋です。文章を読み、下の問1-1と問1-2に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

出典：日本農業新聞（2016年8月19日）、万象点描 食の多様性喪失 社会、文化の発展ピンチ？（一部改変）

グローバリゼーション^{注1}：政治・経済・文化などが国境を越えて地球規模で拡大すること。グローバル化。

生物相^{注2}：特定の環境（地域・時代）に生息する生物を全てまとめた概念。

選択交配^{注3}：人為交配の一種で、植物や動物などの形態的・生理的性質を一定の方向へ改変することを意図して個体を選抜し、掛け合わせること。

遺伝的多様性^{注4}：ある一つの種の中での遺伝子の多様性。

問1-1

波下線を付した筆者の問いかけに対するあなたの判断を記した上で、その理由を述べなさい（計350字以内）。

問1-2

食の多様性・地域固有性を今後どうしていくべきと思うかについて記した上で、そのための方策や課題の解決策について述べなさい（計350字以内）。

問2

下の問2-1と問2-2に答えなさい。

表1 全国の人口の変化、産業別就業者数、出生率及び死亡率と全国順位

都道府県	人口増加率	順位	人口密度	順位	15歳以上就業者数	順位	産業別15歳以上就業者割合						出生率	順位	死亡率	順位
							第1次	順位	第2次	順位	第3次	順位				
	%		人/km ²		人		%		%		%		人/1000人		人/1000人	
全国	0.2		343.4		59,611,311		4.0		23.7		66.5		8.2		10.1	
北海道	-2.2	31	70.2	47	2,509,464	7	7.2	18	17.1	44	70.2	7	7.1	44	11.0	27
東京都	4.6	1	6,015.7	1	6,012,536	1	0.4	47	15.2	46	70.8	5	8.5	10	8.5	44
大阪府	0.5	8	4,669.7	2	3,815,052	3	0.5	46	22.7	31	68.7	10	8.3	12	9.4	40
鳥取県	-3.0	37	167.8	37	287,332	47	9.3	10	21.8	34	63.4	31	8.3	12	12.7	9
島根県	-3.3	40	107.0	44	347,889	44	8.3	14	23.4	28	65.5	22	7.9	25	13.7	3
岡山県	-0.6	16	273.5	24	900,116	21	4.8	29	26.7	17	63.6	30	8.5	10	11.1	25
広島県	-0.6	16	337.4	18	1,343,318	12	3.3	34	25.3	19	66.6	17	8.8	6	10.5	31
山口県	-2.8	36	237.4	28	665,489	26	5.4	25	26.2	18	66.3	19	7.6	33	13.1	5
香川県	-1.6	26	530.7	11	462,418	39	5.7	23	24.9	20	67.0	16	8.2	17	11.8	17
福岡県	0.4	9	1,019.0	7	2,262,722	9	2.9	37	19.8	40	71.8	3	9.1	4	9.8	37
沖縄県	2.3	4	611.9	9	578,638	33	5.0	27	14.0	47	72.3	2	12.2	1	7.8	47

人口増加、人口密度及び就業者数は平成22年国勢調査、出生率と死亡率は平成25年厚生労働省大臣官房統計情報部の人口動態調査を基に作成されている。

出典：しまね統計情報データベース <http://pref.shimane-toukei.jp/index.php?view=3831> (アクセス:2016年8月23日) を改編。

問2-1

表1から山陰両県（島根県及び鳥取県）がどのような現状であるかを300字以内で説明しなさい。

問2-2

表1のデータに基づいて、山陰両県を活性化していくためには、どのようにしたらよいか、あなたの考えを300字以内で述べなさい。